



浦島伝説

風が吹いている

合唱コンクールまで、あと3日になりました。朝早くから校内に歌声が響いています。そして、今日は最後のリハーサルがありました。初めてのリハーサルから比べると、ずいぶんうまくなったことでしょう。

昨年度から体育祭が春に移行したため、9月に大きな行事がなく、クラスが一つになって熱く燃えることがありませんでした。勉強に集中できるものの、何となく張り合いのない日々だったかもしれません。学校全体が、ちょうど“凧”のような状態でした。

しかし、少しずつ風が吹き始めました。「合唱コンクールで金賞を取る」という大きな目標ができ、早朝、昼休み、放課後と、時間を見つけて練習する姿が見られ、学校にも活気が戻ってきました。

♪時代は今、変わっていく 僕たちには願いがある この涙もその笑顔も すべてをつないでいく……、これは今年のロンドンオリンピックNHKテーマソングの『風がふいている』（いきものがかり）の最初の歌詞です。さらに、途中には、♪言葉にできないこと涙があふれること ふるえる心で感じたすべてが僕の今までをつくってきたんだ……、♪晴れ渡る空が悲しくなる日も一人じゃないんだ 声はそばにある 君と笑いたい 夢を分かち合いたくて 歌い合えるように奏で合えるように この時代を僕らをこの瞬間を……、という歌詞もあります。今、合唱コンクールに向けて、いろいろな思いを持ちながらも頑張っているみなさんへのエールとして受け止めることもできます。

今、詫間中学校に大きな風が吹いています。そして、合唱コンクール当日、マリンウェーブでも“感動”という名のさわやかな風が吹くことを願っています。

読書の秋

昨日の朝の会で、本の読み聞かせがあり、各学級に1人ずつ読み聞かせボランティアの方がついてくださいました。天満宏子さん、渡辺千恵子さん、浜口和子さん、三土真千子さん、馬城明美さん、宮武哲世さん、小林哲子さん、安藤信子さん、真鍋タヨ子さん、横山久美子さん、竹林千鶴さんの11名です。どの方も、中学校は初めてなのでとても緊張されていましたが終わった後は、中学生がよく聞いてくれたとうれしそうに話してくださいました。自分で読むのもいいですが、ときには人に読んでもらって聞くのもいいですね。心に響いた言葉はありましたか？



心に響く魔法の言葉

- ◆ 何事か成し遂げるのは、才能ではなく、性格である。【司馬遼太郎】
- ◆ どんなに悔いても、過去は変わらない。どれほど心配したところで、未来もどうなるものでもない。いま、現在に全力を尽くすことである。【松下幸之助】
- ◆ 拍手されるより、拍手する方がずっと心豊かになる。【高倉健】
- ◆ 今日いい稽古をしたからって、明日強くなるわけじゃない。でも、その稽古は2年先、3年先に必ず報われる。自分を信じてやるしかない。大切なのは信念だよ。【九重親方(元横綱千代の富士)】
- ◆ 気取らないこと。とにかく飾らない。自分を大きく見せようとする段階で人はうそをつくし、それはすぐに見破られるものである。【志村けん】
- ◆ 「やればできる」って…、じゃあやれよ！「昔はすごかった」って…、昔なんてどうでもいいんだよ。今どうなんだよ。【所ジョージ】
- ◆ 「無理」という言葉を、壁と思うかバネを思うか。それだけで人生は大きく変わる。【木村拓哉】

※ Facebook『心に響く「魔法の言葉(名言)」集』から引用